

## 九州におけるビンズイの繁殖の初記録

今村京一郎<sup>1\*</sup>・光永 汪<sup>2\*</sup>

1. 〒862-0956 熊本県熊本市水前寺公園27-22

2. 〒860-0084 熊本県熊本市山室1-9-3

ビンズイ *Anthus hodgsoni* は、北海道、本州北・中部、四国の一部では夏鳥として繁殖し、本州南西部、四国の一部、九州、南西諸島等では冬鳥である(日本鳥学会 2000)。これまで九州では繁殖記録はなく、熊本地方では冬鳥あるいは旅鳥として普通にみられる種である。県南の白髪岳(標高1,417m)で1例、県北の阿蘇高岳(標高1,592m)で3例の夏期の観察例があったが、繁殖の確認はなされていなかった(今村 2002)。そこで、2002年に熊本県希少野生動植物検討委員会のレッドデータブック補完調査として、阿蘇高岳を重点的に現地調査したところ、繁殖地の南限と思われるビンズイの営巣を発見したので報告する。



図1. 巣に食物を運ぶビンズイ

Fig. 1. An Olive-backed Pipit bringing food to the nest.

2003年7月25日 受理

\*日本野鳥の会 熊本県支部

キーワード: 熊本県, 繁殖記録, ビンズイ

本論文のカラー写真を <http://www.wbsj.org/nature/database/strix/22/imamura.html> でみることができます。



図 2. 岩陰に発見したビンズイの巣とヒナ

Fig. 2. Olive-backed Pipit's nest with chicks, built in the shade of rocks.

調査は熊本県阿蘇郡一の宮町の高岳北斜面を中心に行なった。第 1 回目の調査では 2002 年 6 月 21 日に、一の宮町仙酔峡ロープウェイ阿蘇山東駅(標高 890m)から、中岳(標高 1,506m)を経て、高岳(標高 1,592m)を越え、高岳東峰(標高 1,564m)にいたる 4.5km の区間を調査したところ、高岳東峰北側の断崖で、ビンズイ 1 羽のさえずりを確認した。第 2 回目の 2002 年 7 月 30 日の調査は、調査経路を変え、阿蘇山東駅から、仙酔尾根登山道を経て高岳に至る 1.8km の区間を調査したところ、高岳北斜面の標高約 1,360m, 1,430m, 1,490m の 3 地点で、さえずりと地鳴きを発しながら霧の中で活発に動き回る計 3 個体以上を確認した。

第 3 回目の調査は 2002 年 8 月 16 日に行なった。第 2 回目の調査でビンズイが確認された場所を重点的に調査したところ、北緯  $32^{\circ} 53' 3''$ 、東経  $131^{\circ} 6' 16''$ 、標高約 1,450m の地点で、食物をくわえた成鳥を発見した(図 1)。その成鳥を追跡することにより、岩陰に 1 巣 3 ヒナを発見した(図 2)。ヒナはふ化後数日を経過していると推測された。営巣地一帯は、溶岩地帯で、火山荒原に特有のコイワカンスゲ、キリシマノガリヤス、カリヤスモドキ等の植生が部分的にみられた。8 月 22 日に調査したが、成鳥幼鳥とも付近には見あたらなかった。ビンズイは、ふ化後 10 日前後で巣立つので(長谷川 1975)、すでに巣立ちして移動したものと推測した。巣の中には未ふ化卵が 1 個あり、灰白色の地に紫褐色の微細な斑点があり、清棲(1978)の記載と一致した。

今回のビンズイの繁殖記録の確認は、1986 年 6 月に船方義輝氏が高岳で生息を初めて確認(今

村 2002)してから16年後の発見であった。これはビンズイの繁殖地が局所的であり、かつ調査が困難な場所にあったため、調査が十分に行なわれてこなかったもので、発見が遅れたものと考えられる。

#### 引用文献

- 長谷川新平. 1975. 繁殖を低める托卵<ビンズイ>. 羽田健三 [監]. 野鳥の生活. pp. 129-133. 築地書館, 東京.
- 今村京一郎. 2002. 情報不足の鳥たち (2) 阿蘇のビンズイ. 野鳥くまもと (273): 4-5.
- 清棲幸保. 1978. 日本鳥類大図鑑 1. 講談社, 東京.
- 日本鳥学会. 2000. 日本鳥類目録改訂第 6版. 日本鳥学会, 帯広市.

The first breeding record of Olive-backed Pipits in Kumamoto prefecture, western Japan

Kyoichiro Imamura<sup>1\*</sup> & Hiroshi Mitsunaga<sup>2\*</sup>

1. 27-22 Suizenji-koen, Kumamoto, Kumamoto 862-0956, Japan

2. 1-9-3 Yamamuro, Kumamoto, Kumamoto 860-0084, Japan

On August 16, 2002 a nest of the Olive-backed Pipit *Anthus hodgsoni* with three chicks was found on Mt. Takadake in Ichinomiya-machi, Aso-gun of Kumamoto prefecture. Prior to this observation it was regarded as only a winter visitor or a passage migrant in the Kumamoto region.

*Key words:* *Anthus hodgsoni*, *breeding record*, *Kumamoto*, *Olive-backed Pipit*

\*The Wild Bird Society of Japan, Kumamoto chapter